

## 農畜産物の価格転嫁実現に係る取り組み

生産資材の価格高騰・高止まりや販売価格の低迷を受け、JA徳島中央会とJA徳島農政協議会は令和5年7月18日(火)徳島市のあわぎんホールで、「農畜産物の適正な価格転嫁等の実現に向けた決起大会」を開催し、県内の生産部会員、JA関係者約800人が参加しました。

大会では、衆議院議員 自由民主党 森山裕氏が「将来を見据えた食料安全保障の確立について～食料・農業・農村基本法の見直しとその方向性～」と題して基調講演を行いました。

また、農業現場からの主張として、JAあわ市夏秋茄子部会 部会長 川人孝史氏は「農協が肥料の種類や施肥量を見直し、農家の肥料代は約半分になったが、生産資材・出荷資材が高騰しているにもかかわらず、単価は上がらず、このままでは離農者が増えるのは明らかである。」と強く訴えました。

その後、JA徳島中央会 副会長 橋本浩氏 から大会宣言(案)が読み上げられ、万雷の拍手をもって採択されました。

これを受け、令和5年7月21日、JA徳島中央会、JA徳島農政協議会は農林水産省で野村哲郎 農林水産大臣と面会し、農畜産物の適正な価格転嫁等の実現に向けた嘆願書を手渡しました。「農畜産物の適正な価格形成に向けた署名運動」で皆様にご協力いただいた64,178名 (JAあわ市4,708名) の署名を提出しました。



## 徳島県農協青壮年組織協議会会长に池上宏樹氏

令和5年6月6日に開催された徳島県農協青壮年組織協議会第70回通常総代会において、JAあわ市青壮年部 池上宏樹氏が徳島県農協青壮年組織協議会の新会長に選任されました。就任に際し、池上氏は「アフターコロナの大切な局面で会長のバトンを受け継いだ重責を感じている。徳島県の農業発展のために若手農業者の意見を取り入れ頑張っていきたい。」と所信を述べました。任期は

2年であり、JA青壮年組織協議会の中四国ブロックで徳島県は議長県となっており、新会長として中四国会議の取りまとめ役となります。

